

～ 唐津市短観 令和4年下半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況DI：▲28）、見通しは「悪くなる」（見通しDI：▲51）
- 現況DIについては前回よりマイナス幅が縮小、業種によっては回復の兆しが見えるものの、電力価格・物価の高騰により今後の景況感については厳しい見方が多数。

■調査概要


調査時期： 令和5年1月  
 調査方法： インターネットまたはFAXによる回答  
 調査内容： 前期と比較した今期（令和4年7～12月）の景況感および  
 今期と比較した次期（令和5年1～7月）の見通し  
 調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した8業種150事業所  
 回答数： 85（回答率56.7%）  
 分析： 唐津市

■当期の結果概要




























現在の景況感は「良い」12.9%に対し、「悪い」が41.2%と上回り、現況DIは▲28ポイントとなりました。業種別に前回調査の現況と比較すると、マイナス幅が横ばいあるいは拡大している業種があるものの、建設業と宿泊・観光業が大幅に改善し、飲食業、旅客運送・運輸業、その他のサービス業についてはマイナス幅が縮小しました。

6か月後の見通しについては「良くなる」が2.4%に対し、「悪くなる」が37.6%、「変わらない」が60.0%と、景況感の見通しについては依然厳しい見方が多数となっております。業種別で見ても、宿泊・観光業以外において見通しDIがマイナスとなっており、電力価格・物価の高騰による景気への不安感が大きいものと思われます。

天気マークと指標

				
特に好調 50≤DI	好調 25≤DI≤50	普通 0≤DI<25	不調 ▲25≤DI<0	極めて不調 DI<▲25

景況天気図

	全業種	農業	建設業	製造業	宿泊・観光業	卸売・小売業	飲食業	旅客運送・運輸業	その他のサービス業
前期 R4.1～R4.6	 ▲42	 ▲55	 ▲35	 ▲29	 ▲60	 ▲45	 ▲57	 ▲25	 ▲50
今期 R4.7～R4.12	 ▲28	 ▲78	 7	 ▲23	 0	 ▲56	 ▲17	 ▲33	 ▲20
来期見通し R5.1～R5.6	 ▲35	 ▲44	 ▲33	 ▲31	 0	 ▲56	 ▲17	 ▲67	 ▲20

## ■当期の結果詳細

	前年調査			前回調査			現在の景況感			現況	6か月後の見通し			見通し
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	普通 (%)	悪い (%)	DI (%ポイント)	回答数 (n=)	良くなる (%)	変わらない (%)	悪くなる (%)	見通し DI (%ポイント)	
総合	▲ 20	▲ 42	▲ 51	85	12.9	45.9	41.2	▲ 28	85	2.4	60.0	37.6	▲ 35	
①農業	▲ 20	▲ 55	▲ 82	9	0.0	22.2	77.8	▲ 78	9	0.0	55.6	44.4	▲ 44	
②建設業	▲ 6	▲ 35	▲ 41	15	20.0	66.7	13.3	7	15	0.0	66.7	33.3	▲ 33	
③製造業	7	▲ 29	▲ 30	26	7.7	61.5	30.8	▲ 23	26	3.8	61.5	34.6	▲ 31	
④宿泊・観光業	▲ 13	▲ 60	▲ 20	5	40.0	20.0	40.0	0	5	20.0	60.0	20.0	0	
⑤卸売・小売業	▲ 50	▲ 45	▲ 68	16	12.5	18.8	68.8	▲ 56	16	0.0	43.8	56.3	▲ 56	
⑥飲食業	▲ 46	▲ 57	▲ 71	6	16.7	50.0	33.3	▲ 17	6	0.0	83.3	16.7	▲ 17	
⑦旅客運送・運輸業	-	▲ 25	▲ 50	3	0.0	66.7	33.3	▲ 33	3	0.0	33.3	66.7	▲ 67	
⑧その他のサービス業	▲ 18	▲ 50	▲ 50	5	20.0	40.0	40.0	▲ 20	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20	

## ■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	・ 燃油・物価高騰に関しては、経営への影響は生じているが、経営を圧迫するには至っていない。【建設業】
	普通	・ 電力料金の補助を拡大してほしい。【製造業】 ・ 観光客の方に街中に来て頂けるよう何かをしなければいけないけど……無力です。【製造業】
	悪い	・ 原料（魚）の高騰、電力・資材・人件費の高騰で急激な経費増に対して、製品の売値値上げが追いついていない状況です。【製造業】
6か月後の見通し	良くなる	・ コメントなし
	変わらない	・ 商品やエサ等の仕入代金の高騰、冷凍庫や冷蔵庫が必要な為、電気代の高騰にもうけが追いつかないのでやめるしかないのかと思って不安になってしまう。【卸売・小売業】
	悪くなる	・ 原材料・製品資材の値上げが続いており、値上げ分、商品価格に転嫁しないと厳しい状況だが、商品価格を上げてしまうと注文がかなり減る為、転嫁出来ず苦慮しております。資材費の一部補助等、どういう形であれ行政の支援を是非お願いしたい。【製造業】

### 唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI※で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※DI（Diffusion Index）：企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観（全国企業短期経済観測調査）などで用いられている。